

多古町議会では、定例会や臨時会での本会議や委員会のほかに、日ごろから視察・研修や近隣議会との連携、イベントへの参加など、幅広い活動を行っています。ここではその一部をご紹介します。

5月 5月 5日 すすくすくテラスたこ竣工式

30 何年先も快適な多古町ライフ

5月30日、多古町の子育て支援住宅、すすくすくテラスたこが無事に竣工を迎えました。

子育て支援住宅は、多古町に移住者を呼び込み、人口を増やすための重要な足掛かりとなる事業であると認識しています。

この事業をきっかけに、多くの若者が多古町で結婚して、子育て世帯へと成長し、未来にわたり、多古町で快適に生活してもえる環境を整えていきたいと思いません。

今後も町の子育て支援策の充実を、積極的に議論していきます。

(文教厚生常任副委員長 宇井伸征)



竣工式でテープカットする議長・町長ほか関係者

6月 6月 8日 青森県田子町来町

8・9 お互いの課題解決に向けて



子育て住宅の特徴について説明を受ける田子町の方々

あじさい祭りに合わせて、前日の6月8日に青森県田子町より澤口勝^{さわぐちまさる}議長、福田博実^{ふくだひろみ}副町長をはじめ総勢11名が来町され、5月30日に竣工したばかりの「すすくすくテラスたこ」を視察されました。現地視察後は、役場庁舎で企画政策課より事業実施の経緯や事業手法などの詳しい説明がされ、質疑では予定時間を超える活発なやりとりがありました。深い関心を持たれたようです。田子町の議員からは「昨年は廃校を活用したグランピング、今年は官民連携事業と、来るたびに新しいことに取り組まれている。来年は何を見せていただけるのか期待したくなる。」との感想を述べていました。秋には多古町から田子町へ訪問します。交流が両町にとっての様々な課題解決の糸口となるよう学んでいきます。

(議長 鶴澤 茂)

空港対策特別委員会

～委員会レポート～

離発着数が大幅増

(6/11)

案件は、報告事項3件でありました。

1件目は、航空機騒音測定結果についてであります。コロナが5類移行によって、インバウンド客の増加に伴って航空機の離発着数が大幅に増え、多古町に設置してある6測定局すべてがコロナ禍前の数値に戻っているとの説明でした。



間倉地区に設置された騒音測定局

2件目は、(有)ティ・ティ・エスの経営状況及び利用状況についてであります。

航空機の運行回復により、前年比利用台数で24.8%、利用金額では34.5%の増加であったとの説明でした。

3件目は、芝山鉄道利用者駐車場の利用状況ですが、鉄道利用者の増加に伴い駐車場利用台数は増加していますが、定期契約利用者は減少傾向、日額利用の台数がそれ以上に増加し、全体の売り上げも増加しているとの説明でした。

そのほかとして、空港圏9市町で構成する自治体連絡協議会より、度重なる航空機事故に鑑み「航空機の安全運航の徹底について」NAAに申し入れを行ったとの説明でした。

(空港対策特別委員会副委員長 佐藤幸三)

文教厚生常任委員会

多古の子 まちの子 みんなの子

(6/11)

このたび文教厚生常任委員会の中で学校運営意見交換会を開催しました。

多古こども園園長、事務長、各小・中学校の校長先生、教頭先生方、今回は多古高校の教頭先生にも参加いただき、それぞれの運営方針や特色、現状についてご説明いただき、子どもたち、生徒たちの様子を教えてくださいました。総じて各ご家庭・地域と連携し、あるいは目指しながら子どもたちの『豊かな心』をもち、『生きる力』を育むために寄り添い、日々、尽力されている現状をうかがうことができました。

一方で様々な課題があることも共有いただき、委員との質疑応答も前向きかつ活発なものになりました。

当委員会として教育行政ならびにこども園、各校が直面している諸課題に対し、教育委員会と情報共有を図りながら連携して対応してまいります。

(文教厚生常任委員長 佐藤利治)



こども園・各学校からの説明に耳を傾ける委員

6月定例会の傍聴者数は延べ11名でした

インターネットで録画中継も行っています



←多古町議会
録画中継はこちらから

多古町

検索

→ 多古町ホームページ → 多古町議会 → 議会中継 → 録画中継

9月定例会は、9月3日(火)から開会予定です。